

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
1	目安箱	大学と一般の方との関わりについて	<p>大学と一般の方々との関わりを強くしてもらいたい。生涯教育の流れがある中、大学という教育の場をもっと活用し、多くの人と関わることで、今日欠如していると言われているコミュニケーション能力の向上が期待できるうえ、その土地を愛することにもつながり、徳島県の人口減少を防ぐことにもなるのではないか。</p>	<p>県内の大学においては、日頃から幅広い分野の公開講座・公開授業や地域の小中高校への出前講座などを実施し、学習機会の提供と地域社会への貢献に御尽力いただいている。</p> <p>県では、包括連携協定を締結している県内外の4大学において、「地域の課題解決」や「人材育成」を図るため、学生が地域に入り、住民の皆様とふれあいながら学習する「地域連携フィールドワーク講座」の開講を支援するとともに、県内外の大学サテライトオフィスの誘致及び活動支援を行っている。</p> <p>また、徳島大学、徳島文理大学との連携により、地域の人材確保に繋げる「ボランティアパスポート制度」を導入し、「徳島に貢献できる人材の育成」に努めている。</p> <p>さらに、大学等の県内高等教育機関が開催する公開講座等につきまして、県立総合大学校「まなびーあ徳島」の連携講座に位置づけ、ホームページや「講座一覧表」(冊子)によるワンストップでの情報提供することにより、県民の皆様にも多様な学習の機会を提供できるように努めている。</p>	政策
2	目安箱	徳島駅に駅メロを	<p>「駅メロ」は、その駅を中心とした街にシンボリックなイメージを与えるだけでなく、地域にまつわる応援歌や伝統曲を伝える絶好のアピールポイントともなる。</p> <p>初めて駅を使う観光客、いつも駅を利用している通勤・通学客、帰省や出張でたまに訪れる人々、誰にとっても「徳島に来た」、「徳島に住んでいる」という強烈なイメージを残せると思う。</p>	<p>本県と徳島市、JR四国の連携により、JR徳島駅で、平成28年8月5日から県内初の「ご当地駅メロ」を開始し、阿波おどりのぞめき囃子を列車到着を知らせる「到着メロディ」として各ホームで放送している。</p>	県土

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
3	目安箱	オリンピックオープニングに阿波おどりを	オリンピックの開会式に、一糸乱れぬ阿波おどりが登場すれば、世界中の人が注目し、絶賛すると思う。	<p>これまで、「はな・はる・フェスタ」の春の阿波おどりや、8月の本番、「阿波おどり会館」における毎日おどる阿波おどりに加え、平成27年度からは「秋の阿波おどり～阿波おどり大絵巻～」を大々的に開催するとともに、国内外で有名連に踊りを披露していただくなど、本場・徳島の「阿波おどり」の魅力を発信してきたところです。今後は、新たに「冬の阿波おどり」にも取り組み、観光誘客の促進を図って参ります。</p> <p>阿波おどりの熱気と迫力は、世界中の皆様感動を与えることができ、文化や国籍など様々な違いを乗り越え、平和でよりよい世界の実現に貢献するというオリンピックの精神にも合致するものと考えている。</p> <p>今後、東京オリンピック・パラリンピックにおける阿波おどり披露の実現に向け、阿波おどり関係団体とも連携し、機会あるごとに関係機関に働き掛けを行って参ります。</p>	商工
4	目安箱	小松島港の有効利用について	<p>小松島港周辺を、県内外からの集客を見込むバーベキューサイトにしてはどうか。オートキャンプ場やバンガローも併設できれば一層良いと思う。</p> <p>また、港湾にマリーナを建設し、周辺地域からの、プレジャーボートやヨットでの来場を売りにすると話題性と需要もあると思う。県産野菜や食肉・魚・焼きちくわなどの販売も行うことで、徳島食材のアピールにもなり、売上収入も見込めるのではないかな。</p>	<p>徳島小松島港本港地区は、平成16年8月に国土交通省四国地方整備局により「みなとオアシス」に指定された。「みなとオアシス」制度においては、市町村・港湾管理者によるみなとづくりと、NPO法人によるまちづくりを連携させて「みなとまちづくり」を目指すことを目的としている。 (小松島みなとオアシスの運営主体は、NPO法人「港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま」)</p> <p>本港地区においては、港の活性化を推進するため、NPO法人を中心に様々な取り組みを実施している。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなと海鮮朝市(毎月第4土曜日) ・ヨットなどによる海からの来訪者を受け入れる「ビジターハーバー」の運営 ・地元農産物等の販売 ・「小松島みなとフェスティバル」「小松島港まつり」などの各種イベントやカルチャー講座の実施 ・屋内常設フリーマーケット ・環境美化のための清掃活動 <p>など様々な取り組みを「小松島みなと交流センターkocolo」を中心に実施している。</p> <p>現在も、交流センター等において、各種イベントやカルチャー講座が実施され、平成27年度は約12万人の方々にお越しいただいている。</p> <p>一方、県ではにぎわいの創出や観光の拠点づくりとして地域の活性化に寄与する目的で、ボードデッキ、遊歩道、親水棧橋などの施設整備や、「観光クルーズ船」の運航などの実証実験にNPO法人と連携して取り組んだところ。</p> <p>いただいた御意見を参考としながら、引き続き、本港地区の活性化に向けて関係者と一体となって取り組んで参ります。</p>	県土

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
5	目安箱	「住んでみんで徳島奨学金」をつくり「若者移住」を	県内から県外へ進学した人に対しては「とくしま回帰」を条件に、また、県外者へは「徳島移住」を条件に、奨学金を優遇し、奨学生には徳島の魅力や就職、住まいの情報を定期的に提供し、長期休暇時には「プチ徳島留学」や「県の政策提案アンケート」等、卒業前から徳島を身近に感じるような企画・援助を行ってはどうか。	奨学金を活用した「とくしま回帰」の取組みについては、徳島県奨学金返還支援制度を昨年度より実施している。 また、徳島県内への就職・定住を後押しするため、支援対象者に「とくしま企業見学バスツアー」への参加を促し、県内企業の魅力を伝える取組みを平成28年度から実施している。 なお、全国の多くの若者に徳島への移住定住を検討していただけるよう、移住定住の情報を集約したウェブサイト「住んでみんで徳島で！」において、県内市町村が実施する支援制度の紹介や相談会・フェア等の案内を掲載し情報を発信している。	政策
6	目安箱	阿波おどり期間限定のスマホアプリなど開発してはどうでしょう	リアルタイムに、どこにんという連がいるのかが全て分かる阿波おどりアプリを作成し、システムを運用してみてもどうか。	阿波おどりは、400有余年の歴史を持つ伝統芸能であり、本県最大の観光資源の一つとなっている。 徳島市阿波おどりを主催する徳島市観光協会では、県内外の多くのお客様に阿波おどりを楽しんでもらえるよう、有名連を主に有料演舞場に適宜配置しているところですが、無料演舞場である新町橋演舞場や両国本町演舞場、その他各おどり広場にも有名連を配置し、阿波おどりの素晴らしさを知っていただく取組みを行っている。有料演舞場や無料演舞場等での連の踊り順は、事前に阿波おどり会館のホームページに掲載されるとともに、当日は、阿波おどり総合案内所でも情報提供が行われている。 また、民間企業においても、連の位置がリアルタイムで分かるアプリを開発し、平成28年の徳島市阿波おどりからサービスが開始されたところ。 今後とも、こうした取組みを通じて、一人でも多くの方々に徳島へお越しいただき、本場・徳島の阿波おどりの熱気を直に体感していただけるよう、情報発信に努めて参ります。	商工

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
7	目安箱	コミュニティバス拡充について	<p>県内でのコミュニティバス導入推進について、交通網の拡充は県全体の活性化にも繋がると思う。利用しやすい時間帯に特化して最低限の便数にする、安価な小型車を使う等の工夫により、多くの地域でこのサービスが広がって欲しい。</p>	<p>地域住民にとって必要不可欠な生活交通を確保するため、「コミュニティバス」の運行など、地域の実情に応じて柔軟・多様な方法により、地域公共交通の確保・維持改善に取り組む市町村に対し、県単補助金や技術的助言により支援を行う。</p>	県土
8	目安箱	徳島を日本のビジネスが生まれる場所にする	<p>ビジネスで利益を出し、お金・人・モノ・情報を徳島に循環させていくことが雇用の促進・税収の増加・地域の活性化に繋がると思う。</p> <p>ビジネスコンテストやオーディション形式でのアイデア発表の機会をたくさん作り、世界中の投資会社や投資家を集めて資金調達し、徳島でビジネスの花を咲かせる。それを日本一の規模で行ってはどうか。1000個のビジネスから世界を驚かすビジネスがきっと生まれます。</p>	<p>新たなビジネスの創出は経済を活性化させるものであり、大変重要であると認識しております。本県では、特産品や文化等の徳島県特有の資源や、個人のユニークな能力・経験等を生かした創業計画を「あったかビジネス」として認定することにより、優れたビジネスの創出に取り組んでいる。「あったかビジネス」の認定を受けた事業者には、県が主催するビジネスコンペに参加いただき、県民投票や専門家による審査を経て顕彰を行っている。さらには、創業者の資金調達支援として、中小企業向け融資制度「創業者無担保資金」を用意しており、事業立ち上げ時や創業初期における資金調達についても支援を行っております。</p> <p>今後は、創業に挑戦する機運を高めるため、創業に関する講座の充実や創業経験者のもとで行う就業体験の導入など、人材育成の取組みの拡充を図り、新たなビジネスの創出につなげて参ります。</p>	商工
9	目安箱	民泊について	<p>阿波おどり期間中、ホテルが予約できなくて、高松から期間中毎日通っていたと聞いたことがあるので、阿波おどり期間の前後だけでも、空いているアパートやマンションで民泊ができれば良いと思う。</p> <p>民泊が認められれば、周辺の飲食店や貸し布団店などの商売も潤うと思う。</p>	<p>今年度、簡易宿所営業の施設の構造設備基準を緩和する旅館業法施行条例の改正を行ったところである。</p> <p>阿波おどり期間中のイベント民泊の実施については、関係機関と課題や条件整備等の検討を進めるとともに、国において検討されている「民泊新法」に適切に対応して参りたい。</p>	危機 商工

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
10	目安箱	T・Kブランド 藍グッズの新 デザイン募集 について	<p>藍ブランドの更なる知名度を高めるため、新デザイン商品を県民から公募し、10点を選定して、開発・商品化し、積極的に販売してはどうか。</p> <p>県民の藍ブランドに対する関心、意識が大幅にアップするとともに、東京オリンピックエンブレムの知名度とリンクして相乗効果が期待できると思う。</p>	<p>本年度、羽田空港において「阿波藍」の魅力を前面に押し出した徳島観光キャンペーン、藍染めファッションショーを実施するとともに、阿波おどり空港・徳島駅での藍製品の展示などに取り組んだところです。</p> <p>また、「とくしま特選ブランド」としても藍製品が認定されており、「あるでよ徳島」での特設展示をはじめ、広くPRを実施している。</p> <p>今後とも、阿波藍の魅力発信、販路開拓を推進し、多くの方々から愛されるブランドとなるよう取り組んで参ります。</p>	商工
11	わくわくトーク	木材利用促進 について	<p>木材の利用促進には、木材に対する理解が重要である。木材利用増のために、教育施設に木造建築を導入し、子どもたちが将来、木材を利用したいと思えるようにすべき。</p>	<p>県では、豊かな森林を守り、その恵みを活かし伝えていくため、「徳島県県産材利用促進条例」を全国に先駆けて制定し、小中学校をはじめとする公共施設の木造化を支援するとともに、県産材の優れた性質や、その利用によって、地域経済の活性化、地球温暖化防止にも役立つことを学ぶ「木育」を、子供から大人まで幅広く推進している。</p> <p>また、木育の拠点施設として、県産材フローリングや木のおもちゃを設置した「すぎの子木育広場」の整備を推進している。</p> <p>今後とも、子どもをはじめとする多くの県民の方々が木材に対する理解を深められるよう、木育をより一層推進し、県産材利用の気運を盛り上げて参ります。</p>	農林教育